



森のめぐみの体験学習

エコシステムアカデミー



2021 年を振り返って、「エコシステムアカデミー」の取り組みについてご紹介いたします。

2021 年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、出前授業やイベントが中止・参加見送りになったり、対外的な活動は実施するにしても今までにない感染防止対策を実施することになったりと、制限の多い 1 年となりました。まだまだコロナ禍は続きそうですが、Zoom など新しい技術を利用したプログラムなど、今までできなかったことが可能になるチャンスと捉え、持続可能な社会づくりに貢献できるエコアカ活動を継続していきたいと思えます。

I 体験型学習

1. 環境教育

2020 年から続く新型コロナウイルス感染は収束しない 1 年ではありましたが、3 密防止/手指消毒/マスク着用/換気など対策を施しながら、あるいは ICT (Information and Communication Technology) を活用しながら、森林環境学習を行うことができました。

エコシステムアカデミーは社会と連携した継続的な活動を目指しており、那須甲子青少年自然の家、西郷村中央公民館(教育委員会生涯学習課/西郷単位制総合大学)、墨田区環境保全課(すみだエコライフサポーター)、東京都立水元公園と協働で、地元子どもたちへの森林環境学習を行うことができました。(子どもたちの郷土愛の醸成・シニア世代の社会貢献と企業の CSR のマッチング)

【白河地区での取り組み】

○10/1 泉崎村立泉崎第二小学校 4 年生 18 名対象に出前授業として森林環境学習(「私たちの生活と森林」+紙すき体験)を実施しました。



講義



紙すき説明



さあ、やってみよう!



先生もチャレンジ



まとめ

○セカンドスクール（那須甲子青少年自然の家 教育事業）

西郷村や棚倉町の小学校 7 校の 5 年生を対象に、「私たちの生活と森林」をテーマとした森林環境学習（講義＋紙すき体験）を、昨年に引き続き、全西郷村小学校の共通授業として実施しました。

また、西郷単位制総合大学学生や白河 OB 会から対応スタッフとしてボランティア参加いただき、地域ぐるみで地域の子どもたちを育成することにもつながりました。

- 10/19 棚倉町立高野小学校（9 名/1 クラス）
- 10/20 棚倉町立近津小学校（24 名/1 クラス）
- 10/25 西郷村立川谷小学校（11 名/1 クラス）
- 11/9 西郷村立米小（34 名/2 クラス）
- 11/11 西郷村立熊倉小（74 名/3 クラス）
- 11/16 西郷村立小田倉小（76 名/3 クラス）
- 11/17 西郷村立羽太小（12 名/1 クラス）



高野小学校（紙すき体験）



近津小学校（まとめ）



川谷小学校（発表）



米小学校（講義）



熊倉小学校（紙すき体験）



小田倉小学校（紙すき体験）



羽太小学校（まとめ）

○12/17 天栄村立大里小学校森林環境学習（5年生5名+6年生6名：11名/1クラス）

那須甲子青少年自然の家にて、講義「私たちの生活と森林」、紙すき体験（原料:N、L（抄き込み）、落書きコピー用紙）、カードゲーム（葉っぱdeクエスト）、表彰式（松ぼっくりメダル授与）を実施しました。



講義



紙すき体験



カードゲーム（葉っぱdeクエスト）



表彰式

【東京地区での取り組み】

○2/25 錦糸小学校（4年生 21名×2クラス対象）オンライン出前授業（総合学習）「紙パック知り隊、広め隊」



1組の様子



2組の様子



エコアカ事務局（白河）の様子

〇8/17 夏休みすみだ環境プログラム「紙のリサイクル」(親子12組24名)



講義講師はオンライン



紙すき体験



発表

〇10/7 都立葛飾総合高校出前授業「地球環境と森の循環」(生物履修2-3年生20名)



講義



紙すき体験

〇10/13-10/17 すみだ環境フェア出展(パネルによるエコアカ活動全体の紹介、墨田区と関連した活動の紹介)



展示パネルの様子(1)



展示パネルの様子(2)

〇10/14 水元小学校自然観察会(水元公園)「楽しい秋いっぱい」(1年生3クラス101名)



ドングリや落ち葉ひろい



森の説明

○11/7 秋の工作教室（水元公園）（一般事前申込者 20 名×5 回）



工作風景（おとなも夢中）



工作風景（子どもたち）

○12/5 メタセコイアの森をめぐるガイドツアー（水元公園）（一般事前申込者 30 名）



メタセコイアの森を歩く



葉っぱやドングリの説明

○12/8 神田ミレーネ保育園「はじめてのかみすきたいけん」（0-3 歳児 8 名）



原料をちぎってカップの中へ



一緒に足踏み

○12/22 高円寺ミレーネ保育園「はじめてのかみすきたいけん」（0-1 歳児 10 名）



紙すきの始まり



アイロンで乾かして完成！

【関西地区での取り組み】

○11月 長岡京市環境フェア（オンライン出展）

昨年に続いて、オンライン開催となりました。三菱製紙株式会社京都工場のページでは、エコアカの小学校での出前授業や長岡京市環境フェア（リアル）での紙すき体験の様子、出前授業での講義スライドの動画を出展しました。子どもたちが持続可能な社会づくり（SDGs）を身近なものとして考える場を三菱製紙が提供していることが発信できました。



環境フェアトップページ



取り組み紹介



スライド動画

【八戸・北上地区での取り組み】

○プロジェクトDの森 in 北上（2017年5月植樹）

日本環境協会・子どもエコクラブならびに北上ハイテクペーパーのみなさんと植樹を行ってから5年目となりました。

4/16 生育状況調査を行い、コナラ 229 本、花実樹 42 本が生育していることを確認しました。併せて、繁茂が激しいクズを除去するために専用防除剤を施術しました。



7/31 日本環境協会・子どもエコクラブならびに北上ハイテクペーパーのみなさんと育樹（下刈り）体験を行いました。一部枯れた苗木の補植も行いました。（参加者：18名）



2. インストラクター養成・社員教育

09/1～9/3 インストラクター養成教育（6名）

/成蹊大学学生インターンシップ（8/16 オリエンテーション～9/10まとめ）（2名）



講義（オンライン+リアル）
白河山荘



工場見学（経木）
島倉産業



工場見学（古紙回収）
中商



工場見学（古紙の利用）
白河だるま総本舗



工場見学（製材）
みなみ製材所



工場見学（炭焼き）
犬飼氏と仲間



野外活動実習



社有林の観察



葉っぱ de 御朱印帳作り



ゲーム説明



ゲーム体験



養成教育修了

II 森の調査・研究

1. 社有林のカメラ観察（定点カメラ／トレイルカメラ）

2 台の定点カメラと2台のトレイルカメラで社有林の生態系を撮り続けています。季節や時間での森の変化や森に棲む動物（獣）たちの生の姿を見ることができます。本年は従来多く撮影されていたイノシシが減り、代わって、シカが多く撮影されていました。



No.1 トレイルカメラ(堰堤付近)



No.2 トレイルカメラ(#2 生長の森)



アカマツの実生(タムラブ 跡)



春



夏



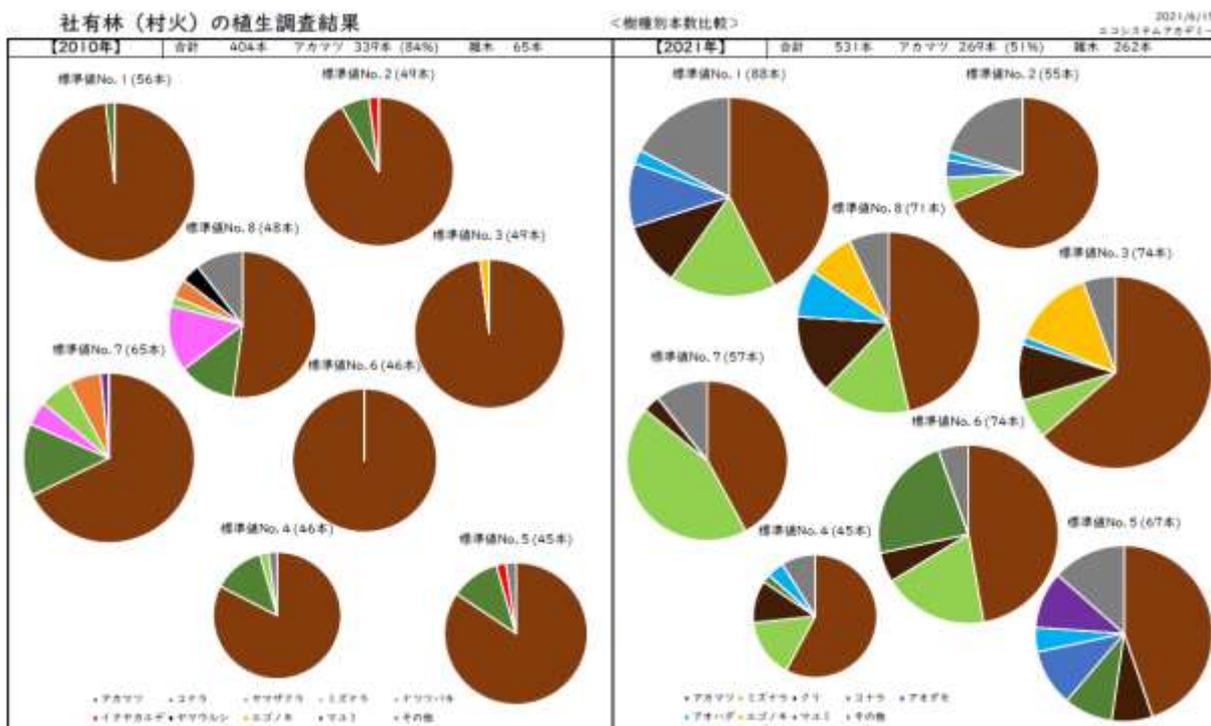
秋



冬

2. 社有林 立木生長量調査 & 標準地毎木調査

パンフレットに掲載の村火社有林標準地の毎木調査を 10 年ぶりに実施。以前は殆どアカマツ主体であったが、現在はアカマツが半減しミズナラなど広葉樹が増えてきています。



併せて、観察路内の看板を増設し計 51 種とし、手書きの看板やマーキングテープを撤去しました。

3. 社有林内の土壌動物調査（秋季）

昨年に引き続き、9/13～16 に土壌動物調査を実施。未間伐地エリアAを間伐地エリアBと離れた場所（エリアA'）に変え、強間伐のエリアDのミズナラが育ったためここを植林地とし、新たに強間伐地としてエリアEを追加し、計5か所調査しました。（現在、まとめ中）

4. 社有林内の野鳥調査

本年は、3/21、4/24、6/26、8/1 の4回実施し、サンコウチョウ、ミソサザイやツツドリなど、近隣で見られる鳥が社有林内で確認しました。

5. 社有林内の放射線量測定

継続して社有林内の放射線量を調査しています。結果、村火・欠入社有林については、安全に活動できると言われている空間線量率毎時 $0.23 \mu\text{Sv/h}$ より低い $0.15 \mu\text{Sv/h}$ 程度以下で推移しています。

Ⅲ 森の育成・管理・利用

1. 社有林の巡視・整備（通年）

OFSC 年次監査

- ・4/28 FSC-COC 監査（印刷物、木製品、モールド製品）
 - ・5/20-21 FSC-FM 監査（村火社有林、欠入社有林、七戸社有林）
- COC、FMとも認証継続となりました。

○村火/欠入/赤仁田社有林の巡視・整備

1年を通し、各社有林を巡視し、観察路・観察エリア整備、部外者侵入・山火事・不法投棄防止、倒木処理等を行っています。

Ⅳ 環境セミナー

1. 第11回環境セミナー（ウェブセミナー）

○11/18 テーマ「自然と共に生きる知恵」として、演題①「自衛隊ライフハック」（防衛省 陸上幕僚監部 広報室 2等陸佐 相澤雄一氏）と演題②「森と人のあたらしい関わり～心を整える森林浴～」（一般社団法人森と未来 代表理事 小野なぎさ氏）のご講演をZoom ウェビナーにて開催しました。



V その他

1. 本社ギャラリー展

○5月 2020年度のエコアカの活動（森林環境学習、森の生態系・生物多様性調査、環境セミナー、森のめぐみの利用など）を紹介しました。



○11月 環境セミナー連動として、社有林での森林環境学習の様子や社有林で撮影された動物（土壌動物や獣）の写真などのパネル展示を行いました。



2. FSC 商材

○WWF ジャパンとの取り組み（FSC®認証白河だるま）

WWF ジャパン/（株）市瀬/白河だるま総本舗/三菱製紙協働商品として、WWF ジャパン設立 50 周年記念「パンだるま」（親子/子）を製作・販売しました。

引き続き、絶滅危惧種大型ネコ科（インドシナトラ、アムールヒョウ、ユキヒョウ）招き猫「まねきネコ科」を販売しました。



パンだるま（親子）



パンだるま（子）



まねきネコ科

（左からインドシナトラ、ユキヒョウ、アムールヒョウ）

以上

【発行】エコシステムアカデミー事務局

長田雅一 濱崎善幸

【発行年月日】2022年1月12日